

経営指導員が発見! キラ★星 企業

No.93

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



ハリマ流通グループの物流部門として

株式会社ブルームは1972年の創業以来、ハリマ共和物産を核とするハリマ流通グループの一員として日用品雑貨を小売店舗に配送する。グループ外からの受注件数も拡大中で、常温の多種多様な荷物を取り扱う。従業員数は50名で、うちドライバーは34名。加西・高槻・大口の3拠点に自社ドライバーと車両を配備するほか、全国各地の協力会社数十社との連携体制によって、1日約300便強を運行している。

高品質・フレキシブルな物流

(公社)全日本トラック協会によると、トラック輸送は国内貨物輸送量の9割以上を占めており、トラック業界は社会経済活動を支えるインフラの役割を担う。難しいのは、配送量が日によって大きく変動することだ。その対策として同社では運行管理システムを導入している。これまでに蓄積したデータを活用して効率分析を行い、それに基づいてシステムが配送ルートを算出する。最終的には経験豊富なスタッフが調整して、最適な貨物の組み合わせや配送ルートを選定する。このようにきめ細かく配送をコーディネートすることで、欠車することなくフレキシブルに対応できる点が同社の強みだ。

ドライバーの安心・安全が会社の信用の根幹

「ドライバーの安心・安全を守ることが、会社の信用に繋がる」という考えから、これまで社員教育を徹底してきた。また、2023年7月にはドライバーの注意力低下を警告する安全維持管理装置をトラック内に取り付けるなど、ハード面でも安全性を追求している。さらに、労務面では、親会社のハリマ共和物産株式会社に準じた労働条件を設定しており、長距離や夜間のような負担のかかる運行は基本的には行っていない。ドライバーそれぞれが自分に合った働き方が実現できるよう、ドライバーの希望に寄り添った配車計画を実施しており、プライ

物流は経済活動を支える「血液」のような存在
安心・安全の追求と運行管理のDX化

株式会社ブルーム 代表取締役 中尾伸太郎

ベートの充実にも配慮している。今後も、「働き盛りなのでできるだけたくさん働きたい」「ワークライフバランスを重視したい」など、それぞれの希望に応じて勤務時間やシフトの幅を広げ、多様な働き方を提案する予定だ。

DX化と2024年問題

同社では省力化・効率化のためにDX化を進めてきた。先述の通り配車のベースはシステムが組み、請求や支払いといった事務手続きにもシステムを導入して作業を簡素化している。このDX化は来る2024年問題にとっても重要なキーワードとなる。さらに同社では2024年問題への対策として、共同配送を兵庫と大阪でスタートさせた。共同配送は、積載効率を上げてそれぞれの会社がより少ない台数で稼働できるwin-winの関係を築くことができる。まずは日用品雑貨を取り扱う同業他社との取り組みから始め、ゆくゆくは異業種にもその範囲を広げる方針だ。

今後の目標

代表取締役の中尾氏は「これまでは社員教育やトラック装備で“安全な物流”を築き上げてきました。今後は“ドライバーに優しい物流”を作りあげていきたいです。例えば、テールゲートリフター（トラック後部に装着する荷物積み降ろし用の昇降装置）が装着されたトラックなら、作業負担を軽減でき、女性活躍の可能性も広がります。」と語った。

※2024年問題…働き方改革関連法によって2024年4月1日に自動車運転業務の年間時間外労働の上限が960時間に制限される。トラックドライバーの労働環境の改善が見込まれる一方で、収入が減少するためドライバーが離職し、物流業界の人材不足に拍車がかかることが懸念されている。

DATA

事業内容：受託物流事業、一般区域貨物自動車運搬事業、自動車運搬取扱事業

所在地：〒671-0218 姫路市飾東町庄313番地

TEL：079-253-0519

HP：https://harima-bloom.jp/index.html